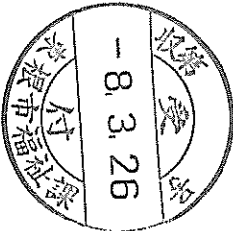


自己評価・運営推進会議における評価活用ツール



事業所名：ニチイケアセンター神戸
作成日：2025年 12月 15日
(事業所としての自己評価日)

作成者：山本 賢一郎
運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 19日

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.		タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会 における 外部評価	記述
I 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	B	ニチイ学館の経営理念と職員全員で作成したグループホームの理念を事務所と各ユニットのリビングに掲示している。全職員が理念を理解して業務に取り組んでいる。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の「一員」として日常的に交流している	B	ホラソケアの受け入れや、ニチイ祭りの再開、地域のお祭りへの参加を通して、地域の皆様との交流を図ると共に利用者様に喜んで頂くことができた。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	B	自拠点で感染対策を行い通常通りの運営推進会議を開催。地域の動向、話題、意見などをお伺いして今後のサービスの向上に反映させている。			
4	市町村との連携	市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	B	運営推進会議には、市役所、包括支援センター職員からも参加していただき、現状報告や今後の取り組みを説明している。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A	身体拘束についての研修を定期的に行い、全職員に周知徹底を行い身体拘束の無いケアに取り組んでいる	A	研修を定期的に行い全職員に周知徹底を行っている	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないことがないよう注意を払い、防止に努めている	A	高齢者虐待防止マニュアルに基づいた研修を行っている。職員にアンケートを行い虐待に関する確認、防止を行っている。	A	マニュアルを作り、それに基づいた研修を行っており虐待があった等の情報もない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	C	成年後見人制度を利用している利用者も知られるが、制度の内容については詳しく知らない職員も居る。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	D	契約、解約、改正是管理者が行っており、重説を含め、不明な点が無いが確認と納得をしていたとき契約を行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B	当社独自の顧客満足度調査に基づき、業務ミーティング時に職員に結果を報告し今後の運営に役立っている。	B	満足度調査により利用者や家族等からの意見を聞き取り運営に役立っている	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	C	業務ミーティングにて職員からの意見や提案を聞き取り、話し合いを行うことで反映させている。また、通常業務においても、意見や提案を受け付ける様になっている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	C	キャリアアップ制度を通じて介護技術と意欲の向上を図っている。またそれによって時給アップにも繋がっている。	B	キャリアアップ制度等の体制が整備されている	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会を確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	C	年間計画に従って研修を行っており、講師を招いた研修もおこなっている。	C	年間計画を作成しそれに従った研修を行っている	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	D	外部とのつながりを持った研修や交流をもつことはなかった			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかす、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	B	利用者だけでなく、家族様からも利用者の事を聞き、これまでの生活を尊重する関係を作れるよう努力している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	B	感染症対策を行いながら、感染状況を見て面会を実施している。施設での様子やイベントの写真を掲示している。			

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール

事業所名：ニチイケアセンター神町

作成者：山本賢一郎

作成日：2025年 12月 15日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 19日

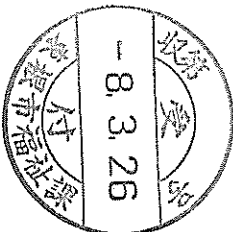
（事業所としての自己評価目）

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会 議 における 外部評価	記述
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	B	希望や意向をうまく伝えることが出来ない利用者もいるため、生活の様子や、家族様からの聞き取りによって本人らしい生活を送れるように支援している。		
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意思やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	B	利用者個人に担当職員を配置し計画作成担当者や職員より情報を得て作成している。また、必要に応じて家族様からの情報も得ている。	B	利用者や家族からのニーズや情報を得ることによって意向を反映した計画作成を行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	B	介護記録にしっかりと日々の生活の様子を記録し、気付いたことは業務管理日誌に書くことで情報の共有を行っている。	B	日々の様子をしっかりと記録し、個々の気付きについて情報共有できている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	B	利用前に家族様、介護相談員と話し合い、本人の様子から本当にグループホームにふさわしいのか、もっとふさわしいサービスがないか検討している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	B	ポラントアイアの期間や地域のお祭り等のイベントへの参加を利用者に楽しんでもらっていた。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	A	提携医による月一の往診と週一度の訪問看護をお願いしており、利用者の体調不良なと際は迅速に連絡、対応できる環境を整備している。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A	医療連携室を通して、病棟の看護師から話を伺う機会を作っていた。き情報を得ている。また、かかりつけ医にも、その初度入院中の様子を報告している。	A	入院中の医療機関や提携医との連携が良く取れている
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	A	医療行為や看取りは行っていないことは入居前に伝えているため、利用者の体調が悪化した場合、今後について話し合うようになっている。	A	対応可能な範囲を利用者や家族に伝え利用者の体調に応じて話し合いを行っている
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全定期的に行い、実践力を身に付けている。	B	緊急時のマニュアルを作成している。ユニット内、利用者の容態急変時の連絡ルートが記載されているファイル置き、慌てることなく迅速な対応に努めている。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	B	年二回避難訓練を実施、職員と民生委員が参加する。水害等の非常事態の際の役割分担をあらかじめ決めており、職員に周知している。	A	地域の民生委員が参加する避難訓練を年二回行い役割を確認することで非常時に備えている

自己評価・運営推進会議における評価活用ツール



事業所名：ニチイケアセンター神町

作成者：山本賢一郎

作成日：2025年 12月 15日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 19日

(事業所としての自己評価日)

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会 議における 外部評価	記述
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライ ドを損ねない言葉かけや対応をして いる	A	利用者の性格や、これまでの生活、認知症 の症状をしっかりと把握し、それに合わせた 声掛けや対応を職員一同が統一して行っ ている	A	一人一人の人格を尊重し個々の性格に合わ せた対応が出来ている
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりの日常生活における希望 や意向、暮らしのペースを大切にし、その 日をどのように過ごしたいか、希望にそっ て支援している	B	利用者の希望にそって支援を行っている が、意思や希望を伝えづらい利用者の方 には状態を見てこちらから活動の提案をして いるが無理をさせないように心掛けている。		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひと りの好みや力を活かしながら、利用者と職員 が一緒に準備や食事、片付けをしている	B	利用者の好みを聞いたり、希望に合わせた メニューを取り入れている、利用者の食事形 態にあった食事の提供を行っている。	B	干し柿づくりや、ひょう干しなど食事を作る過 程を楽しみ、季節や行事に合わせた工夫が されている
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を 通じて確保できるよう、一人ひとりの状態 や力、習慣に応じた支援をしている	A	介護記録に毎日の食事量、水分量を記入 し、食事量や水分量に変化があった際は記 録、申し送り等を通して情報の共有を行っ ている。		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に 応じた口腔ケアをしている	A	毎食後、口腔ケアを行っており、介助が必要な方 には介助をおこなない。必要ない方でも磨き残しの 無いように見守りを行っている。	A	利用者の状態に合わせた口腔ケアを行っ て いる
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一 人ひとりの力や排泄のペース、習慣を活 かして、トイレでの排泄や排泄の自立にお けた支援、便秘の予防等、個々に応じた予 防に取り組んでいる	B	お客様の様子を確認し、尿意の確認を行 う。尿意の確認が取れない利用者に対して は排泄チャエツクを通して排泄のリズム、間隔 によってトイレ誘導を行っている。	A	利用者の排泄リズムや体調に配慮した支援 を行っている
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて 入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日 や時間帯を決めてしまわずに、個々にそっ た支援をしている	B	入浴を楽しめるように、声掛けの工夫をおこ ない、体調面に考慮して入浴を行っている。 利用者の体調に合わせた介助と状況によっ てはシャワー浴や足浴、清拭にて対応して いる。		
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況 に応じて、休息したり、安心して気持ちよく 眠れるよう支援している	A	利用者の状態や希望に合わせて休息を取 れるようにし、夜間はしっかりと眠れるように 支援している		
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作 用、用法や用量について理解しており、服 薬の支援と症状の変化の確認に努めてい る	A	服薬ミスが起きないように薬のセットと服薬の 際、二重チェックを行っている。職員一人一人が 薬の作用を理解して服薬を行っている。	A	二重チェックを徹底し服薬漏れや誤訳が無 い様に体制が整備されている
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう に、一人ひとりの生活歴や力を活かした役 割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支 援をしている	B	利用者のこれまでの生活を活かすことのできる 役割を提案し、張り合いを持って能力の維持を 目指した生活をしている。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外 に出かけられるよう支援に努めている。ま た、普段は行けないような場所でも、本人 の希望を把握し、家族や地域の人々と協 力しながら出かけられるように支援してい る	D	数名の利用者が、自宅より家族と過ごす事 が出来た。外泊するにあたり、感染予防の 話をさせていいただき家族から協力得て外出 支援を行った。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを 理解しており、一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使えるように支援し ている	D	お小遣いは、施設の金庫で預かり散髪代や 生活雑貨などの購入に使っている。お小遣 い帳で管理し、御家族様から確認してい たいとしている。		
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をし たり、手紙のやり取りができるように支援をし ている	C	御家族様からの電話があった時には、取り 次ぎ直接話しをしてもらっている。また、届い た手紙は本人にお渡しし、必要であれば職 員が読むのを手伝っている。		
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわか る力を活かして、安全かつできるだけ自立 した生活が送れるように工夫している。共 用の空間が、利用者にとって不快や混乱を まねくような刺激がないように配慮し、生活 感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居 心地よく過ごせるような工夫をしている	B	季節感を取り入れてリビングの飾りつけを行 い、利用者の制作物を展示するなど行っ ている。また、室内の換気を行い生活しやすい 様にエアコンによる温度調節、加湿器の使 用を行っている。	B	季節感が感じられるような飾りつけや展示を 行い以後こちの良い空間づくりを行っている 。過ごしやすい様に空調管理や加湿器の 使用もしている

事業所名：ニチイケアセンター神町

作成者：山本賢一郎

作成日：2025年 12月 15日

運営推進会議における評価実施日：2026年 2月 19日

（事業所としての自己評価日）

凡例 A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない ※グレーの網掛け部分は外部評価の評価対象外

No.	タイトル	評価項目	事業所 自己評価	記述	運営推進会議 における 外部評価	記述
Ⅳ. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	B	利用者に希望を聞きながら支援しているが、希望をおっしゃれない方にはご本人のその日の状態を思ながら、こちらから家事やレク活動、行事への参加を提案している。参加への拒否がある際には無理強いせずに、ご本人様のペースで過ごせるように配慮している。		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	B	入居前に、ご本人や御家族様に面談を行い会話を通して把握に努めている。また、紹介先の介護支援専門員の方や病院の相談員の方々から情報を得ている。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A	協力医の往診(内科)体調に変化が見られた際には、その都度協力医に連絡し指示を仰いでいる。また、協力医以外のかかりつけ医を希望されている利用者には、ご家族様と連携しながら受診して頂いている。	A	利用者の体調に応じた支援を適切に行っている
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	C	入居前の面談で自宅での生活の様子をお聞きし、なるべくその方の方のペースに合わせて生活出来るように支援させて頂いている。		
44		生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	C	自宅で使用していたものや、思い出の写真などを居室に断っている。施設内でのイベントの写真も利用者が見えるところに掲示している。	B
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	C	家族様が、自宅で過ごさせたいとの希望で週末の外出を行い、神町祭里には、希望者を向るかお連れしてカラオケ大会の見学を行いました。		
46		本人は、自分ができること、できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	B	入居前の面談で、ご本人や御家族様から得た情報を共有し、一人ひとりが役割や楽しみを持って過ごせるように配慮している。		
47		本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	B	利用者が出来る事を把握し、役割を持ってもらうことで生活に張り合いを持ってもらい、利用者のこれまでの生活を把握し会話を楽しめるように話しかけている。	B
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	D	神町祭りの際に利用者様と知り合いの方がお話をされたり、ボランティアの方と交流をされたりしている。		
49		総合	本人は、このGHにいてことで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることできている	B	ボランティアの期間や神町祭りへの参加を通して地域の方との交流を深めることが出来ました。今年は施設のお祭りを行う事もできこれからはもうこういった行事を行うことで、地域の皆様と認知症の利用者のかたの交流が盛んようにして参ります。	B

参加者サイン欄

・東根市役所健康福祉部 福祉課 介護保険係

・東根市地域包括支援センター中央

・家族代表 (はほえみ・やわらぎ)

・区長・民生委員

・グループホームさくらんぼ (管理者)

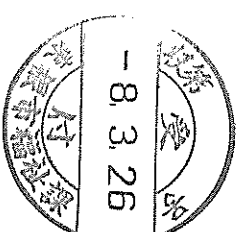
氏名の記載は、個人情報になりますので控えさせていただきます。

帳票D

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなってしまうよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

事業所名 ニチイケアセンター神町ほほえみ
作成日： 令和 8年 2月 19日
作成者： 山本 賢一郎



【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
	1 28	利用者の食事形態に合っていない状態での食事を提供してしまい嚥下事故を起こしてしまった。食事形態の把握が徹底されていない。	利用者の食事形態の把握の徹底、嚥下事故を起こさないための環境づくり	利用者の現在の食事形態の把握の徹底、利用者の体調の変化による食事形態の変更等の検討を定期的に行い変更があった際は、情報の共有を行い、いつでも確認できるようにしておく。	12ヶ月
	2				ヶ月
	3				ヶ月
	4				ヶ月
	5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

